



# 竹村

Kusunoki



学園で最も高層となる地上10階建ての「翔空館」の時計台

## CONTENTS

### ● 巻頭特集

2022年4月1日から  
大阪樟蔭女子大学では、  
竹村一夫新学長を中心とした  
新体制がスタート。

1

● こもればの窓 — こだわりの「ゆずこしょう」を世界の人に届けたい  
安澤 和子さん

3

● SHOIN LABO — 心理学を通じて人間を理解する

川上 正浩先生

5

● 育むところ — 表現力や教養を身に付け幸せに生きていく力を養ってほしい  
青木 郁美先生

7

● 樟蔭×SDGs

8

● NEWS — 「樟蔭同窓会総会と東京支部総会が、3年ぶりに開催されました」ほか

9

● INFORMATION — 「2023年度 大学入試一覧」ほか

14

● 2021(令和3)年度の決算概要

15

● FORUM — 「人事」、「寄付金お礼」ほか

17

● 田辺聖子文学館・しょういん子育て絵本館  
くすのき健康栄養センター

19



はばたけ、知性。



2022年4月1日から大阪樟蔭女子大学では、竹村一夫新学長を中心とした新体制がスタート、新しいステージへ進みます。



大阪樟蔭女子大学

学長 **竹村 一夫**

この「くすのき」が発行されるのは8月ということですが、日本社会では、77年前に戦争が終結したという時節柄、戦争に思いを馳せることが多い時期です。第2次世界大戦後70年以上が経過した現在、国連の常任理事国という責任ある立場にある国家が、あたかも19世紀の帝国主義国家のような振る舞いをするという、これまでの国際秩序を大きく揺るがす想像できなかった事態が進行しています。新型コロナウイルス感染症のパンデミックもそうですが、わたしたちが生きている21世紀は、これらのように予測しがたい事態が生じる社会、先を見通すことが困難な社会だといわれています。このような予測困難な社会において、自らがおかれた状況を理解し対処していくためには、先人の知識をふまえ文理の枠を越えた「教養」が非常に重要な役割を果たすのではないのでしょうか。

樟蔭学園はその創設の折から、植物園や博物標本室を設けていたことに象徴されるように、直接生活に役立つ知識を伝達するのみならず、「教養」に重点を置いた質の高い女子教育をめざしてきました。それは「高い知性と豊かな情操を兼ね備えた社会に貢献できる女性の育成」という建学の精神に集約的に表現されています。

この学園創設の原点をふまえ、総合的な教養に裏付けられた、自ら考え、判断し、行動する力を持つことで、他人に流されることなく、変動する未来をしっかりと生きる女性の育成を心がけていきたいと考えています。

入学した学生が、樟蔭での学びを通してしっかり成長し、それを実感して卒業してもらえるような大学として、大阪樟蔭女子大学を卒業したことを誇りと思える大学として、これからも教職協働で取り組んでいきます。今後ともみなさまのご支援を心よりお願い申し上げます。

Vice President



点検・評価 人事 IR担当

副学長 **白川 哲郎**

竹村一夫新学長からの指名により、4月より副学長として人事、点検・評価、IR (Institutional Research) を担当しております。

2022年度、本学では三度目の認証評価を受審します。認証評価機関による認証評価は、回を重ねる度に重要度を増しています。点検・評価担当として、今回の認証評価で「適合」の評価を得ることが、まず第一の任務であると認識するところです。関係のみなさんとともに、無事受審し終わられるよう努めてまいります。

ところで私は、昨年度より1年次の全学必修となった自校教育科目「樟蔭の窓」を担当

しております。「樟蔭の窓」は、本学の歴史と伝統を伝えるとともに、自らが社会を構成する一人であるとの自覚や態度を涵養してもらうべく設けられた科目です。担当者として「樟蔭の窓」の充実を図ることで、本学が目指す「『自律』し『知恵』を身につけ、社会のいろいろな場面で『要』となることのできる人」の育成に力を注いでまいります。

微力ではありますが、竹村新学長を補佐して、大阪樟蔭女子大学の発展に努めてまいります。どうか本学の教育活動にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



学生支援 地域産官学連携推進 入試・広報担当

副学長 **高橋 裕子**

新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、私たちは「新しい生活様式」と呼ばれる日々の過ごし方を余儀なくされ、大学の学びのみならず、社会が、そして世界が大きく変化しました。大きな時代のうねりの中で建学の精神に則り、学生たちの成長を支える基盤となる大学のあり方を常に見直すとともに、学生一人ひとりの課題に対して、学びと成長の機会を充実させることが私の使命です。

キャンパス内で折々に実感することは、本学が卒業生をはじめとする多くの方々の

「樟蔭愛」に支えられているということですので。人生100年時代を生きる女性として、大学生活を通じて自分らしさの第一段階を手に入れて本学を巣立ってほしいと願っています。持続可能な「樟蔭愛」を育み、新たな伝統を築いていくために力を尽くして参ります。どうぞお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。



学修支援 学術研究支援 国際化推進担当

副学長 **小森 道彦**

4月よりおもに「学修支援」担当として、学生のみなさんの大学での学修に関する事柄を統括しています。

昨今、大学は教育の「質」を保証しなければならぬと言われます。本学でも質保証、つまりよりよい教育をするために、様々な取り組みを行っています。

また、授業方法の向上をめざすFD活動も盛んで、例えば教員は相互の授業を参観し、意見交換できる場などを設けています。

このような取り組みの中で、私たちが学生のみなさんに学んで欲しいのは、「自ら進んで学ぶ」ことです。

美容室や床屋では、代金を払って黙って座っていれば、髪はいつの間にか整います。でも大学では、授業に出席して黙って座っていても、学力が自然に身につくものではありません。

将来が見えにくい社会で自分の人生を切り開くために、樟蔭の4年間で、これまでの受身的な学習態度から、自ら問題を見つけ進んで学び取る姿勢に切り替わってほしい。本学の教職員スタッフとともに、その学びを支えるのが私の仕事かと思えます。どうかご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



## こだわりの「ゆずこしょう」を世界の人に届けたい

株式会社柚子辛源 (ゆずからりん) 代表取締役

**安澤 和子さん**

### Profile

- 1967年3月 樟蔭中学校卒業
- 1970年3月 樟蔭高等学校卒業
- 1972年3月 大阪樟蔭女子大学別科生活専修(食物コース)修了

やすざわ かずこ

大阪府堺市出身。旧姓・川崎。子どもの頃のあだ名は「カーコ」だった。生命保険会社に在職中、知人にゆずこしょうの製法を教わり、手作りで顧客に贈ったところ大好評。商品化し、会社を創業した。さまざまなテレビ番組や雑誌で紹介され、現在は海外でも売られている。

### 輝いていた樟蔭中学・高校のころ

母の勧めで、樟蔭中学校に入学しました。女の子だから受験で苦しくないように考えたのでしょう。中学・高校と大阪樟蔭女子大学別科の計8年間は、私の人生で一番の華の時期でした。輝いてましたね。母には本当に感謝しています。

中学では、すごく華やかだったダンスクラブに入部しました。創作ダンスでしたが、ターンや開脚などの基本は厳しく教えられました。体が小さかったので、発表会の時に先輩の肩に乗せてもらって踊ったことをよく覚えています。高校は演劇部。本当に一生懸命に練習したので、今でも大会の時のことを思い出します。中学3年時のクラスの団結力がすごくて、現在も毎年のように同窓会を開いています。新型コロナが流行してからは開けず、さみしい思いをしています。



高校卒業後、別科の食物コースに進みました。食べることも、作ることも好きなんです。カロリー計算とか、食品の成分を確認したりとか、当時から興味がありました。作ることが好きですから、おいしい食べ物があつたら必ず人に聞いて自分で作るんです。それが今の仕事につながっています。

大学も、友達との交流が楽しかったですね。今から思えば、なんで4年制の大学に行かなかったんだろうと後悔しています。

### 定年まで勤め上げ、楽しかった営業の仕事

生命保険会社で定年までの31年間、勤務しました。ずっと営業トップの成績で、支部長に就任する時には顧客が1000人以上いたんです。頑張りました。長く続いたのは、営業が楽しいから。お客さんとは、定年した今でも付き合いがあります。それが何よりうれしいですね。支部長を約5年間務めて部下を80人くらい育成し、また現場に戻りました。ゼロからもう一度、自分の力を試したかったんです。トップの秘訣を講習したこともありますが、やっぱり楽しく仕事をするのが一番です。それから、負けず嫌いだったこともあるんでしょうね。

### 「ゆずこしょう」に出会う

1998年に、ゆずこしょうに出会いました。知人のお父さんにももらったんです。それがおいしくて。特にみそ汁に入れたときのおいしさはすごかった。古里の長崎で作られているそうです。「これ、めちゃくちゃおいしいわ。作り方教えてよ」とお願いして、自分で作ってみました。ユズの皮と唐辛子と塩しか入らないから、結構簡単なんです。

ただ、そのままだと辛すぎたので、独自に工夫しました。それで、その手作りのゆずこしょうを保険のお客様にプレゼントすると、とても喜んでくれました。そのうちの3人の社長から「これ、商売にしたら絶対に売れるから、やってみ」と言われて、作ってくれる食品会社を探したんです。でも、食品会社が作ったゆずこしょうは自分で作るものとは違ふんですね。「愛がないな」と思いながら工夫を凝らし、2年後にまともな商品ができあがりました。それから販売です。しばらくして、「ゆずからりん」と名付けました。

全く違う世界への挑戦です。だけど、保険のセールスも商売と一緒に。形の無いものを売ってきたのだから、形のあるものが売れないわけがない、どこまでやれるか挑戦してみたい、という思いでした。



### あきらめずに挑戦し、広く愛される商品に育つ

2011年に定年退職し、本腰を入れて取り組むことにしました。自分で作って自分で届けようと思って、今は大阪府高石市の自社工場で製造しています。そのきっかけは、高知県三原村のユズを使えるようになったことです。

ユズには豊作の年(表年)と不作の年(裏年)があります。2017年は裏の年でした。ユズを分けてもらえるところを探し回ったところ、夫が生まれ育った三原村にたどり着きました。偶然にも、子どもの頃の夫を知っている方だったんです。そうしてピンチを切り抜け、安定的にユズが得られるようにもなりました。三原村のユズは香りがすごく良く、口コミで「おいしい」と広がって百貨店やスーパーからオファーが相次ぎましたね。

成熟前の、まだ小さくて青いユズの皮を薄くむき、その他の部分は入れません。1瓶35グラムにユズの皮が7~8個分も入っています。鍋やみそ汁、唐揚げ、パスタなどいろいろな料理に合いますよ。フランス大統領の料理を作る有名なシェフも気に入って、「魔法の香辛料」と言ってくれています。

夢は世界制覇です。今、スペインやフランス、アメリカ、香港、ドバイ、シンガポールなどで売られています。世界中の人にゆずからりんを知ってほしいんです。

### 「樟蔭の卒業生」が誇り

今、振り返ると、樟蔭で大事にしてもらって、素直に育つことができて、それが役立っているんだと思います。樟蔭の生徒は独特の雰囲気を持っています。みんな心がきれいで、意地悪な人はいません。生命保険会社の時の部下たちによく言ったんですけど、人の話を素直に聞いたら成長します。私も上司の話を素直に聞いたおかげで、31年も勤続できました。素直が一番。それを教えてくれた樟蔭には、感謝しかありません。

私は、「樟蔭の卒業生です」と言えることが誇りです。何をやるにも、勇気ももらっています。今の樟蔭の生徒たちにも、プライドを持って卒業してもらいたいと思っています。



1971年度大学卒業アルバムより



大学卒業式での記念写真

卒業生の方々のご活躍の様子をお知らせください。

TEL.06-6723-8152 | FAX.06-6723-8263

さまざまな分野でご活躍されている卒業生の情報をお寄せいただき、みなさまの力をお借りして、この「こもれびの窓」で幅広い卒業生の姿をお伝えしていきたいと思っております。身近でご活躍の卒業生の様子をぜひとも学園広報までお知らせくださいますよう、お願いいたします。



## 心理学を通じて 人間を理解する

### 川上 正浩 先生

大阪樟蔭女子大学 学芸学部心理学科 教授  
大阪樟蔭女子大学大学院  
人間科学研究科 臨床心理学専攻 教授

#### Thought

川上正浩教授は、認知心理学を専門に研究を続けています。心理学を通じて、「考えることに手を抜いてはいけない」と学生に伝えたいという川上教授に、心理学の面白さや教育に対する思いを聞きました。

#### 人間の理解に役立つ心理学

心理学って、面白いんですよ。人間の行動を理解する助けになります。

例えば、友人が「さっきコーラを買いに行ったんだけど、ボタンを押そうと思ったら赤いランプがついていたのでジンジャーエールにした」と話したとします。自動販売機とは言っていないのに、聞いた人は「自動販売機で買ったんだな」と分かるし、「赤いランプ」で売り切れだったと理解するでしょう。このように、言われていないことを頭



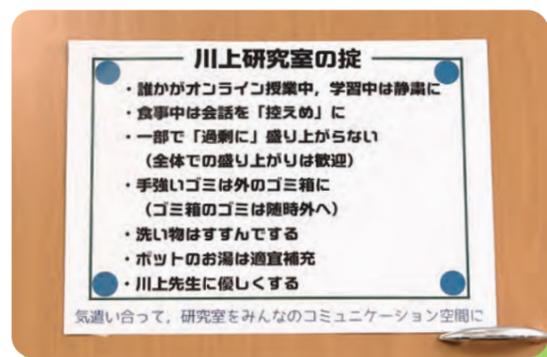
の中で補う傾向が人間にはあります。だからこそ会話が成立するんです。

これを悪用したのが「オレオレ詐欺」です。「オレオレ」と言われて、無意識のうちに息子や孫だと解釈してしまう。言われていないことを自分で補ってしまうんですね。この人間の「クセ」はなくせませんが、意識するだけで詐欺に引っかかりにくくなります。

#### 心理学は「鳥人間コンテスト」

人間には個性があってそれぞれが違うと言うけれど、それでも意外と決まった行動を取ってしまう。こういうところが面白いと感じています。

心理学は、鳥人間コンテストみたいなものだと思います。鳥人間コンテストは、人力で飛んだ距離を競います。人力ですから飛び続けられるわけではなく、その中でどれだけ飛べるかを追求するわけです。心理学は人間を科学的に説明しようとする学問ですが、人間には個性があって、やはり100%の説明はできません。その中で、もうちょっと、もうちょっとと限界にチャレンジしていく。これが、私にとっての心理学の魅力です。



#### 血液型診断を批判的に捉えてほしい

専門は認知心理学ですが、最近は領域にこだわらず、さまざまな心理学の先生と共同研究をしています。その一つが、臨床心理学と社会心理学の先生と私の計3人で行っている「不思議現象」の研究です。

この研究では、占いやUFOなど科学では証明されていない現象をどういった人がどんな風に信じてしまうのか、を調査しています。面白いのは、タイプ分けできることです。一つは、とにかく信じてしまう信奉者タイプ。それから「面白いからいいじゃん」と娯楽的に楽しむタイプ。そして、はなから信じない懐疑タイプ、知的な関心があって不思議現象に興味をもつタイプなどがあります。私たちは、それぞれのタイプの特徴を解明しようとしています。例えば、このタイプは自尊心が低い人が多い、というようにです。

研究の最終的な目的は、例えば血液型性格診断のような根拠の希薄なものをどうやって信じなくさせて、きちんと批判的に物事を考えられるようにできるか、ということになります。サイエンスとしての心理学を学んだ後に、「あの子はB型だから…」みたいな話をされたら困ります。血液型診断は和気あいあいと盛り上がるだけの話題だったら問題ありませんが、人間関係を狭める方向に働いたり、差別につながったりすることもあります。やはり批判的に捉えた方がいいと思います。

#### 脳の限界を克服するための仕組み

「虚記憶」という現象も面白いんです。例えば実験として、「番組」「アンテナ」「チャンネル」を含むたくさんの単語を覚えてもらった後に、それらを思い出して書いてもらいます。すると「テレビ」という単語はなかったのに「あった」と答えるんです。これは、頭の中に意味のネットワークがあり、それを使って情報を補うため起こる現象です。先ほどの自動販売機の例と似ていますが、語られていないことを頭の中で補うことは、そもそも人間に必要な能力なんです。「昔々あるところに」で始まる昔話を聞くと、日本のわらび屋根の風景を思い浮かべるでしょう。しかし、海外の話かもしれないし、別の時代かもしれない。あらゆる可能性を考えていたら脳が処理しきれないので、頭の中の情報を使って不明な部分を決め打ちするんです。日常生活を円滑にするために必要な仕組みで、脳の限界を克服するためにできたのだと思います。



#### 考えることに手を抜いてはいけない

学生たちには「考えることに手を抜いてはいけない」と一番に伝えたいと考えています。深く考えずに勝手に「決め打ち」をする傾向は日常生活を円滑にする一方、トイレトーパーの買い占めのような誤った判断にもつながります。そういう決め打ちをせずに、考えるべき時は手を抜かず批判的に判断してほしい。そのために、考え方のスキルを一生懸命に教えたいと考えています。

#### 大学を最大限利用してほしい

私は、他の複数の大学で非常勤講師を務めていますが、大阪樟蔭女子大学は素直な学生が多いという印象です。そして、活発な学生から慎重な学生までいろいろなタイプがそろっているとも感じます。

大学生活では、コミュニケーションがすごく大事です。人は多様な考え方に触れることで成長していきます。人間の見方が一つ増えると、人生はずいぶん楽しくなります。

今はコロナ禍でなかなかうまくいかないところもありますが、学生には「とにかく研究室にこい」と言っています。大学が学生たちにとって居場所にならないと、大学生の充実度が上がらないということも分かってきたので、居場所になるように努めています。そしてもう一つ、学生には学ぶことに貪欲であってほしいと思います。学生時代は、自分の考えや思いを説得力のある形にするトレーニングができる一番いい時期です。ですから、大学を十分に使い尽くしてもらいたい。先生たちを学校の備品のように使ってほしい。壊さない限り、どんどん使ってもらって構いませんから。



かわかみ・まさひろ  
三重県出身。名古屋大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程単位取得満期退学。博士(心理学)。2001年4月より本学人間科学部心理学講師、本学助教授などを経て、2010年から本学教授。専門は認知心理学。人間が言葉を理解するプロセスを研究するほか、大学生の充実に関する研究や女子力の研究など関心は幅広い。著書に「スーパーエッセンス心理学」(共著、北大路書房)など。

表現力や教養を身に付け  
幸せに生きていく力を  
養ってほしい



樟蔭中学校・高等学校 保健体育教諭  
身体表現コース担当/入試部 広報委員  
**青木 郁美先生**



ダンス部の高校3年生と

interview

樟蔭中学校・高等学校のダンス部が全国大会の常連になったのは、青木郁美先生の指導のたまものだとおっしゃいます。青木先生に、ダンスとの出会いや指導方針についてお聞きしました。

ダンスを続けたくて、樟蔭高等学校へ

大学卒業後、樟蔭高等学校の保健体育の教諭に応募したのは「ダンス専門」という条件を見たからです。無事に採用され、ダンス部顧問にも就任しました。それ以来ずっと続けているこの仕事は、30数年の間に、私にとっての全てと言っても良いぐらいになりました。ダンスに出会ったのは大学時代です。実は2、3年生の時、大学が面白くなくてあまり行っていませんでした。でも3年生の時、ダンスの発表会で同級生の踊りを見て、感動したんです。1年生の時は私の方が上手だったのに、3年間でこれだけの作品を作れるようになるんだと思いました。私も真面目にやり直すことにし、2年間長く大学に在籍しました。4年生の頃からはダンス中心の生活を過ごしていました。

無限の可能性を持つ生徒たちを指導

教師になってまず、ダンス部顧問の面白さに気がつきました。1年目に全国大会に参加すると、高校の部の優勝校のダンスがすごく良い。「高校生ってこんなに踊れるんだ」と思いました。うちのダンス部は当時、レベルが高くなかったのですが、私学ということで環境は抜群でしたし、生徒たちも賢くやる気がありましたので、何とかなるんじゃないかと。3年目から、上手なダンスを目指すのではなく、生徒のできることを組み合わせることで作品を作りました。すると、それが斬新な作品と評価されて、全国大会で入賞し、その後13年連続入賞です。時代の寵児となりました。私も若かったので、生徒とぶつかりながら一緒に成長できたと思います。生徒はある程度まではコントロールしているつもりですが、ふとしたきっかけで私の予測を超えてくる。それが教師という職業の面白さですね。

今の時代、表現力が大切に

樟蔭中学校・高等学校の「身体表現コース」の立ち上げに中心となって関わり、授業内容などを構築しました。表現力はやはり大切です。もともと人前で何かすることの好きな子は、驚くほど上手に演技に取り組んだり話そうようになりますが、身体表現コースを選択していても、人前で話すことが苦手な生徒もおり、そのような生徒が身体表現の授

業を受けるうちに壁を乗り越え、たどたどしいながらも苦痛なく話せるようになる姿を見ると感動します。私も高校生の頃はあまり内面を表現するタイプではなかったのですが、ダンスに取り組むことで自分を素直に出せるようになりました。このコースでは、ダンスや演劇などのさまざまな身体表現のジャンルのプロを講師に招いてワークショップを行う授業があり、生徒たちはさまざまな表現に触れます。また、表現するためには中身は不可欠で、教養を身に付ける授業も確保しています。例えば、図書館に行って読んでみたいと思った本のタイトルをノートに書く、小学生新聞をどんでん読む、漫画を読破する。それだけでもかなりの知識量になりますし、時間ができた時に文章を読むきっかけにもなります。このように、表現力や教養を身に付けるヒントはたくさん用意しています。身体表現コースやダンス部の卒業生は、もちろん表現の分野でプロとして活躍している人もいますが、気象キャスターや芸能界、看護師などさまざまな分野で活躍しています。今の時代、自分でアピールしないと、どこにも認めてもらえません。身体表現コースで学んだ表現力が役に立っていると思います。

人生を豊かにするために

生徒たちには、幸せに生きていく力を学校生活の中で身に付けてほしいと思います。不満を言っているよりも、自分で面白いことを見つける力がついたら人生は豊かになります。樟蔭中学校・高等学校には、やりたいことをやらせてくれる環境があるので、やる気になりさえすればすごく面白いと思います。最近のダンス部の活動は、YouTubeやSNSで見つけられるので探してください。今も元気にやっていますよ。

PROFILE

●あおき・いくみ 1963年京都府生まれ。  
1987年3月京都教育大学教育学部特修体育学科卒業、  
1988年3月同大学教育専攻科(保健体育専攻)修了。同年4月樟蔭高等学校専任教諭に就任。ダンス部の顧問にも就任し、全国大会で何度も入賞する強豪に育てた。



樟蔭

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年9月、国連サミットにおいて「持続可能な発展のための2030アジェンダ」が採択され、その中に明記された持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals; SDGs)は、世界的に大きなムーブメントとなりつつあります。私たち樟蔭学園は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



学園としての取り組み

● 太陽光パネルの設置



● OiTrの設置



● 地下水の利用(飲用以外)



学生・生徒による取り組み

大学

● 髪の毛で夢をつなぐ ~ヘアドネーション~



● ecoプロ ~エコキャップやコンタクトレンズケース回収活動~



中学

● 2学期の文化祭に向けて、ペットボトル回収



中学・高校

● 着なくなった子ども服を回収して難民キャンプに送る活動



## 学 園

## 樟蔭同窓会総会と東京支部総会が、3年ぶりに開催されました。



樟蔭同窓会

5月15日(日)、シェラトン都ホテル大阪(大阪市)で、3年ぶりに樟蔭同窓会総会が開催されました。総会では、野田圭子会長のあいさつから始まり、同窓会の運営・活動報告などが行われました。パーティでは、大学マンドリンクラブのOGで結成された「アンサンブル フィオーレ ディオサカ」によるマンドリン演奏が行われました。そして、恒例の福引大会では、卒業生手作りのケーキ型フラワーアレンジメントなど役員の方々可愛くラッピングされた景品が並び、福引を楽しみました。参加された卒業生の皆さまは、和やかな雰囲気の中、楽しい一日を過ごされました。

6月7日(火)には、東京支部総会が開かれました。会場は、2年前から



樟蔭同窓会



樟蔭同窓会



東京支部総会



東京支部総会

予定されていたフォレストテラス明治神宮で、バックに神宮の緑の樹々が見える部屋で行われました。今回のアトラクションは、三田喜良さんによるマリンバ演奏(ピアノと共演)でした。

その後、BS朝日「百年名家」で放映された樟蔭館の映像を上映し、皆さまと誇らしく観賞しました。

どちらの総会も最後に校歌を聞き、母校への思いを馳せながら和やかに閉会しました。

## 大学・大学院

## 大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部では、学生によるプロジェクト「コルクプロジェクト」を立ち上げ、様々な社会貢献活動を行っています。

健康栄養学部では、管理栄養士や栄養士を目指す学生がキャンパスライフの質を向上していくために何が出来るかを考え実行する「コルクプロジェクト」を立ち上げ、地域社会のための企画・運営を行っています。

## 【イベント企画】

- ・東大阪市立高井田老人センターと協力し、高齢者を対象にフレイル(※)予防についてのイベントを開催しました。  
※加齢に伴い心身の機能が低下し、介護が必要な一歩手前となった状態
- ・地域の方々の健康支援に取り組む「きらみらい星の子Cafe」とコラボし、審査を勝ち抜いたメニュー2品を、期間限定にて販売しました。
- ・大阪樟蔭女子大学附属幼稚園が毎月開催する誕生日会用のお菓子のレシピ考案・調理などを担当、園児へのお菓子作り(約150人分)に取り組みました。

いずれも、「健康」をキーワードに、栄養教育や指導ができる栄養士・管理栄養士の育成、ならびに“食”を中心とした正しい健康情報を教育できる人材の育成に基づくものです。

学生たちも、本取り組みを通じてさまざまな課題を解決することで、自信や達成感を得ることができると成長を実感しています。



フレイル予防のイベントの様子



附属幼稚園のお菓子作りの様子



学生手書きのメッセージカード



コンテストに参加した学生と審査員

## 大阪樟蔭女子大学では、大阪万博EXPO2025の共創チャレンジプログラムに採択された2つのプロジェクトが稼働中です。

2025年大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、企業、研究機関などが主体となり「参加型万博」を体現するチーム「TEAM EXPO 2025」内の共創チャレンジプログラムに、本学の学生プロジェクト2グループが採択されました。

- ・中高生につなぐ!大阪樟蔭女子大学生のSDGs×万博応援プロジェクト
- ・料理で世界をつなぐ!大阪樟蔭女子大学生のCo-creation of food

特に、「中高生につなぐ!大阪樟蔭女子大学生のSDGs×万博応援プロジェクト」では、学生による万博応援隊SDGirlsが、樟蔭中高生や近隣の中高生と一緒にインターネットラジオとオンラインイベントで、プロジェクトの取り組み内容や魅力などを発信していきます。

これまで、ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会の方や公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 広報戦略局の方、天王寺動物園 飼育展示課 飼育企画班の方など、万博の共創チャレンジに採択された取り組みに関わっているの方々取材し、学生たちがそれぞれ工夫をして情報発信を行っています。



SDGirlsとゆめ伴プロジェクト様との打ち合わせの様子



インターネットラジオ収録の様子



中高生と一緒に取り組んでいる様子



中高生と一緒に取り組んでいる様子



天王寺動物園へ取材に行く様子

## 大阪樟蔭女子大学 学芸学部 ライフプランニング学科では、地域の様々な世代と交流を深め、地域活性化の一助になる活動を行っています。

ライフプランニング学科(フードスタディコース)では、「食」に関する知識とスキルと、「食」を通じて社会貢献できる力を身につけながら多様な地域活動をおこなっています。

濱田信吾准教授3年生ゼミ有志は、生駒市にて地域住民とともに遊休農地(耕作放棄地)の再活用に取り組んでいます。再開墾、土づくりからはじめ、大豆の有機・無農薬栽培をおこない、収穫した大豆を使用した手前味噌作りを実施する予定です。

本プロジェクトは、奈良県生駒市西菜畑町自治会が生駒市の助成を受けて進める「複合型コミュニティづくり」計画という全国的に注目される取り組みの一環として実施されています。慣れない農具や、多種多様な生物と出会う里山環境に戸惑い感動しながら、これまで草刈り、土起こし、種まき、先芽の摘み取りと土寄せ作業を終えました。秋からは枝芽の摘み取り、枝豆、そして大豆の収穫を予定しています。



地域住民と大豆の種まきをする学生



地域住民と大豆の種まきをする学生



草刈りの様子

## 中学校・高等学校

## 樟蔭中学校・高等学校は、3年ぶりに「第12回 身体表現コースクラブ発表会」を開催しました。

2022年4月29日(金・祝)、約3年ぶりに東大阪市文化創造館にて、「第12回 身体表現コースクラブ発表会」を開催しました。

本イベントは樟蔭中学校「身体表現コース」の開設を記念し、2011年より開催、新体操、ダンス、バトントワリング、ポンポンチアなどの身体表現系の部活動において全国トップレベルの実力を持つ生徒による本

格的な演技・演奏を披露する芸術発表会です。

コロナ禍の影響で不開催が続きましたが、学業と両立しながら日々努力を重ねてきた華麗で躍動感あふれる生徒の演技に、会場からは惜しみない拍手が送られました。



## 樟蔭中学校・高等学校のコーラス部・バトントワリング部・ポンポンチア部・ダンス部が、プロ野球セ・パ交流戦のオープニングセレモニーに出演しました。

2022年6月に行われたプロ野球セパ交流戦(オリックスVS阪神)のオープニングセレモニーに、樟蔭中学校・高等学校のコーラス部・バトントワリング部・ポンポンチア部・ダンス部が出演しました。

ビッグイベントということで、授業の合間を縫って練習を重ね無事に演

技を終えた生徒たちに、会場から万雷の拍手が降り注ぎました。

出演したイベントは以下のとおりです。

- ・6/10(金)コーラス部・バトントワリング部・ポンポンチア部
- ・6/12(日)ダンス部



## 大学・大学院、高等学校・中学校・幼稚園

## 学園内各校の連携が進んでいます。

樟蔭学園は、建学の精神の主旨である「『高い知性』と『豊かな情操』を兼ね備えた社会に貢献できる女性の育成を目指す。」を大切に受け継ぎ、多様性のある学校種を持つ総合学園としての強みを活かし、枠組みを飛び越えた有機的な学園内連携を深めています。



## SHOIN子育てカレッジ

大学の児童教育学科と樟蔭高等学校が協力・連携し、学生・生徒の教育実践活動と地域の子育て支援を目的としたイベントが、2008年度より開催されております。



## 給食メニュー開発と食育指導

大学の健康栄養学科では、授業の一環として附属幼稚園と連携し、これまでの授業で学んだことを活かした「給食メニュー開発」と「食育指導」を行っています。



## Shineスポーツ栄養研究会

大学の健康栄養学科の学生有志が、樟蔭中学校・高等学校のクラブ選手を対象に栄養サポートやアスリートの食生活に関する研究を行うプロジェクトです。

大阪樟蔭女子大学  
第72回 くすのき祭

2022年10月22日(土)・23日(日)  
テーマ:natural ~わたしらしく~  
皆さまのお越しをお待ちしております。



※写真はイメージです。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、やむなく中止・日程変更などの場合がございます。予めご了承ください。

2022年度  
樟蔭中学校・高等学校 若葉祭(体育祭・文化祭)

若葉祭テーマ  
「咲き誇れ 私たちの華  
-Bloom our own grace-」

体育祭テーマ  
「光輝け 無敵のプリンセス」  
2022年9月20日(火)

文化祭テーマ  
「華麗に輝け 個星たち!!!」  
2022年9月30日(金) 校内  
2022年10月2日(日) 一般公開10:00~15:00

※入場制限あり(生徒の保護者・家族のみ)  
※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、やむなく中止・日程変更などの場合がございます。予めご了承ください。

